

ゲーミングに係る内部統制

2017年6月13日

公認会計士 丸田 健太郎

目次

1. 内部統制及び内部統制監査制度の概要 P. 2
2. 海外ゲーミング事業者の内部統制 P. 12
3. 日本版MICSの検討事項 P. 20

1. 内部統制及び内部統制監査制度の概要

内部統制の必要性

- ✓ そもそも、内部統制制度の構築は、**組織で業務を行う上で起きてしまうミスや不正を防いだ上で、経営そのものの品質向上**を目指すための仕組み作りである。

従来の日本型経営

- ・終身雇用
- ・株式持合い
- ・一族経営
- ・間接金融
- ・高度経済成長



人材の流動化
組織・市場のグローバル化



さらなる経営の品質
向上が課題



コントロール欠如による
不正、不祥事の続発



企業規模が拡大している中、

- ・ 経営の品質向上
- ・ コントロール欠如による不正、不祥事の防止

の同時達成をするためには、
性悪説によった明確な仕組み作り(=内部統制)の構築が必要不可欠

“カン”や“担当者任せ”
の経営
↓
性善説を取る日本

内部統制の目的

✓ 『企業の存在を支えるもの = 内部統制』

企業の存在意義

利益を生み出し、存続すること

内部統制の 4つの目的

業務の有効性
と効率性

財務報告の
信頼性

法令順守

資産保全

目的が達成 されない状態

利益を
生まない

虚偽の財務
報告を公表

法律違反
を犯す

会社の資産が
侵される

無配、給与
不払い等

利害関係者の
信用失墜

社会的制裁

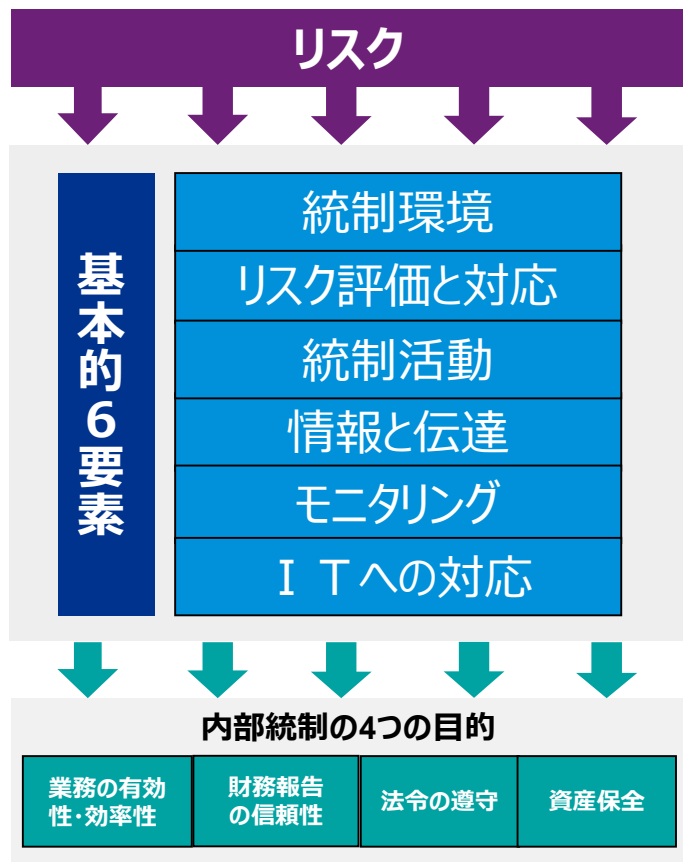
会社財産の
流出

内部統制の目的が達成されない場合、
企業の存続そのものが難しくなる



内部統制の基本的要素

- ✓ 内部統制とは内部統制の4つの目的が達成されるとの合理的な保証を得るために、業務に組み込まれ、組織内のすべての者によって遂行されるプロセス。
- ✓ 当該プロセスは、6つの基本的要素から構成され、一体として機能して有効になる。



基本的要素	定義
統制環境	組織の気風を決定し、組織内のすべての者の統制に対する意識に影響を与えるとともに、他の基本的要素の基礎をなし、影響を及ぼす基盤である。
リスクの評価と対応	組織目標の達成に影響を与える事象について、組織目標の達成を阻害する要因をリスクとして識別、分析及び評価し、当該リスクへの適切な対応を行う一連のプロセスをいう。
統制活動	経営者の命令及び指示が適切に実行されることを確保するために定める方針及び手続をいう。
情報と伝達	必要な情報が識別、把握及び処理され、組織内外及び関係者相互に正しく伝えられることを確保することをいう。
モニタリング	内部統制が有効に機能していることを継続的に評価するプロセスをいう。モニタリングにより、内部統制は常に監視、評価及び是正されることになる。
ITへの対応	組織目標を達成するために予め適切な方針及び手続を定め、それを踏まえて、業務の実施において組織の内外のITに対し適切に対応することをいう。

内部統制の具体例

✓ 業務処理統制、IT業務処理統制及びIT全般統制の具体的な例としては以下のようなものがある。

業務処理統制 (PLC)

- 証跡管理：ルールに沿って実施した職務を客観的に示すための証拠となる記録を残す
- 承認行為：担当者が実施した職務を監督者がその職務の内容を確認し承認する
- 職務分掌：それぞれの職務が果たすべき責任や職責を果たす上で必要な権限を明確にするために、職務ごとの役割を整理・配分し、相互牽制を図る

IT業務処理統制 (ITAC)

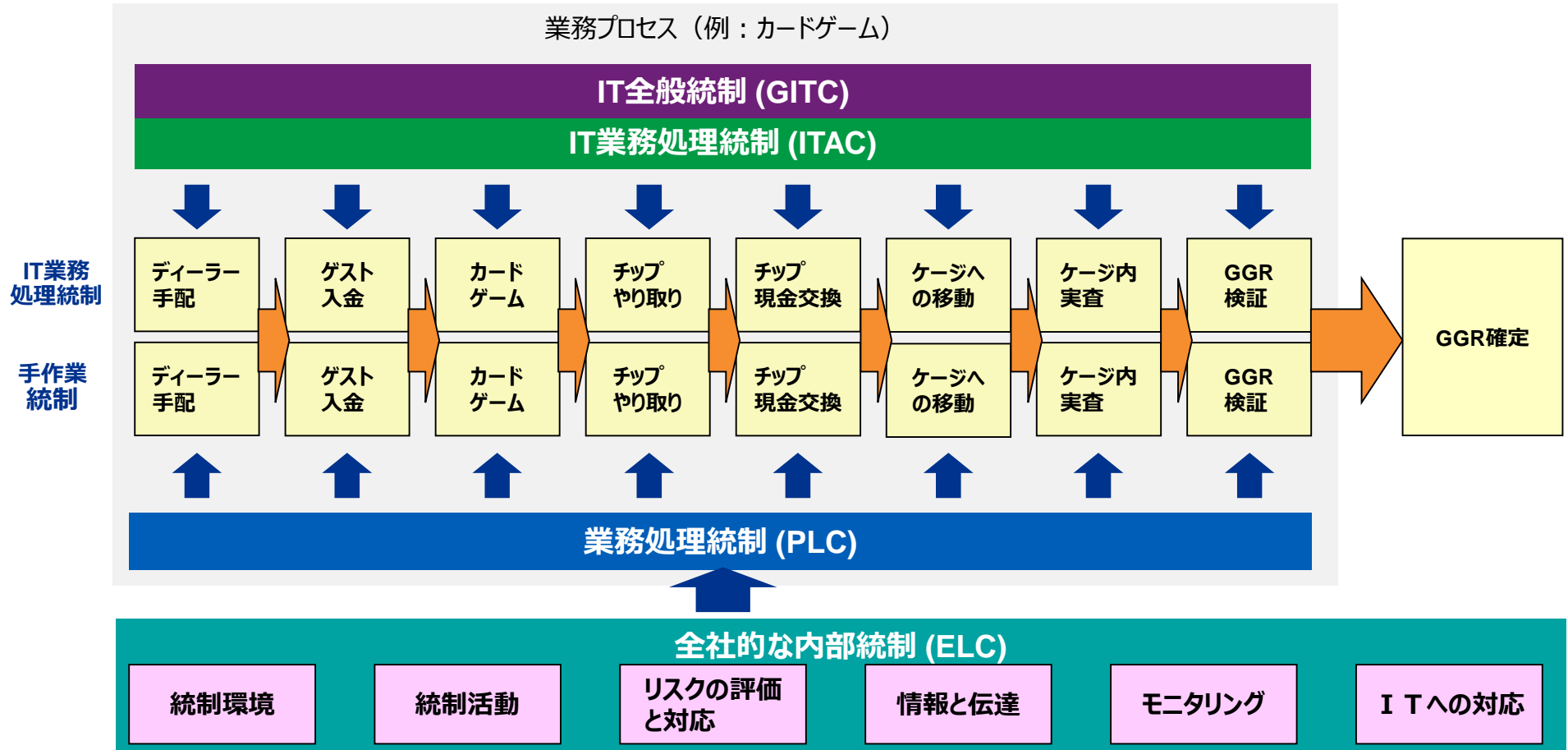
- インターフェース：システム間のデータ授受を漏れなく正確に行うシステム統制
- 入力制限：ルールに沿った入力以外を受け付けられないようにするシステム統制

IT全般統制 (GITC)

- アクセスコントロール：プログラムやデータ（物理的なサーバー等含む）にアクセスする権限をID及びパスワードの設定により特定の者に制限する
- システム開発/変更管理：システムの開発や変更を行う場合の手順や承認手続を定める必要
- バックアップ管理：災害発生等により壊れたプログラムやデータを復旧するためのデータ保管手続

内部統制の各領域の具体例

✓ 内部統制の各領域及びその具体的な適用範囲を示すと以下の通りである。



※GGR・・・Gross Gaming Revenue (総ゲーミング収入)

日本における内部統制監査制度の趣旨

- ✓ 日本における上場会社への規制として内部統制報告制度（J-SOX）及びその監査制度が設立された趣旨は以下の通りである。

大前提

健全な資本市場が形成されるためには、企業情報が適正に開示される必要

意図的に不適切な開示がなされる事例が発生



企業の体制が有効に機能していないという状況あり



**ディスクロージャーの信頼性を確保するためには、
企業における内部統制の充実が必要！**



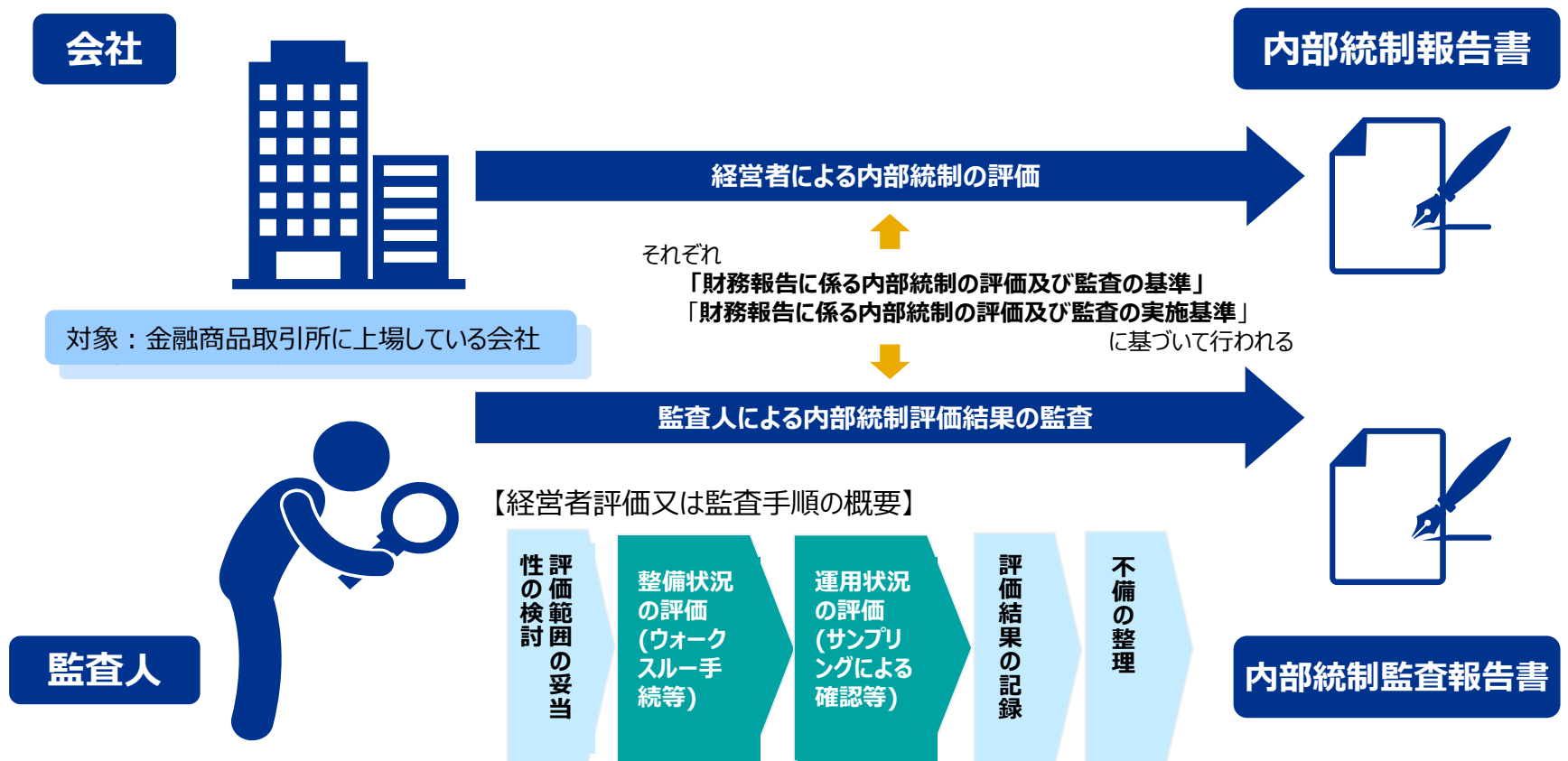
J-SOX

日本における内部統制報告制度及び監査制度の確立

- 経営者による適切な財務報告を行うための内部統制の構築
- 経営者による内部統制の評価及び監査人による内部統制の監査

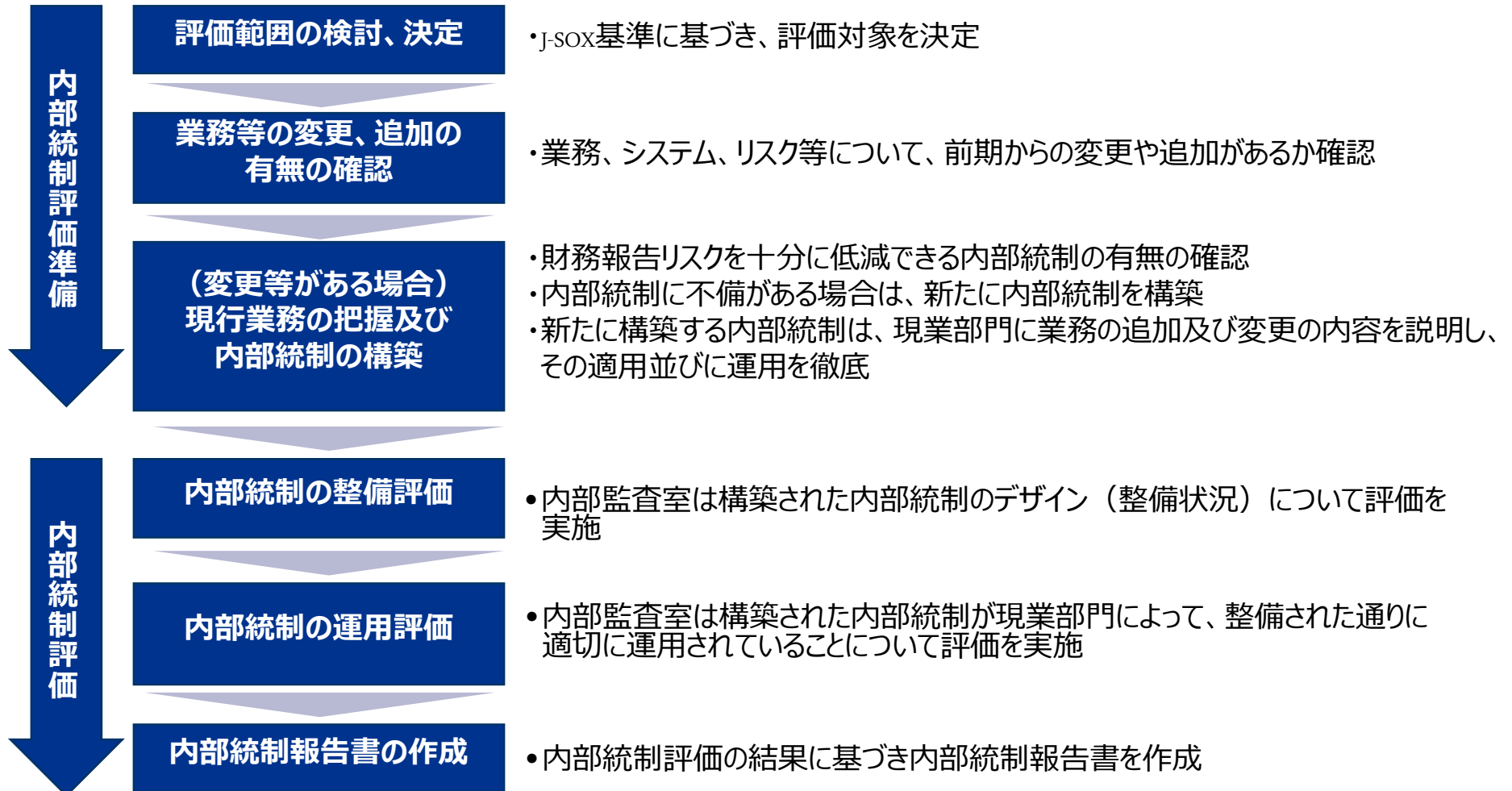
日本における内部統制監査制度の概要

- ✓ 上場企業は、毎事業年度、財務報告の適正性を確保するための内部統制について、一定の基準に従い評価した結果を「内部統制報告書」として提出する必要がある。
- ✓ 「内部統制報告書」は、公認会計士又は監査法人の監査証明を受ける必要があり、その監査結果は「内部統制監査報告書」として公表される。



日本における内部統制評価業務の流れ

✓ 経営者の責任により以下のプロセスを実施し、その評価結果が適切性について公認会計士の監査を受ける。



内部統制の不備

- ✓ 内部統制の不備と判定される事項には以下のようなものがあり、重要なものについては内部統制報告書にて「開示すべき重要な不備」として開示が必要となる。

<例>

カードゲームのメインバンクにおける現金やチップに関するチェックルール



<コントロール>

カードゲームのメインバンクに保管された全ての現金、チップ等は少なくとも8時間ごとに集計、記帳、残高確認を行い、監督者はこれらの統制が適切に行われたことを確認し、チェックフォームにサインする

整備状況の評価
における不備の例

- × 明文化されたルールが無い
- × 現金、チップ等を誰も確認しない仕組みになっている
- × ルールはあるが、業務プロセスの記述がされていない

運用状況の評価
における不備の例

- × 監督者がルールどおり記帳していない
- × 監督者は確認したらしいが、証跡が残っていない
- × 監督者は確認したにもかかわらず、記帳された現金残高と実際の現金残高に不整合があった

開示すべき重要な不備は内部統制報告書に開示が必要

2. 海外ゲーミング事業者の内部統制

最低限順守すべき内部統制 (MICS) とは

- ✓ 海外ゲーミング事業者は最低限順守すべき内部統制 (MICS: Minimum Internal Control Standard) の順守が求められる。

目的	<ul style="list-style-type: none">ゲーミング運営事業者のGGR課税(納付金)の課税逃れを防ぐゲーミング運営事業者の資金周りの効果的な管理を行う
規定項目	<p>最低限順守すべき内部統制として、以下の項目が規定されている。</p> <ul style="list-style-type: none">ビンゴ (Bingo)ケージと与信 (Cage and Credit)カードゲーム (Card Games) ← ページ15で解説IT技術 (Information Technology) ← ページ16で解説インタラクティブゲーミング (Interactive Gaming)エンターテインメント (Entertainment)キノ (Keno)パリミュチュエル (Pari-Mutuel)レース及びスポーツ (Race and Sports)スロット (Slot)テーブルゲーム (Table Games)
規制	<ul style="list-style-type: none">独立した会計士による合意された手続 (Agreed-upon procedures) を受ける必要がある。売上規模に応じて、独立した内部監査部門を設置する必要がある。

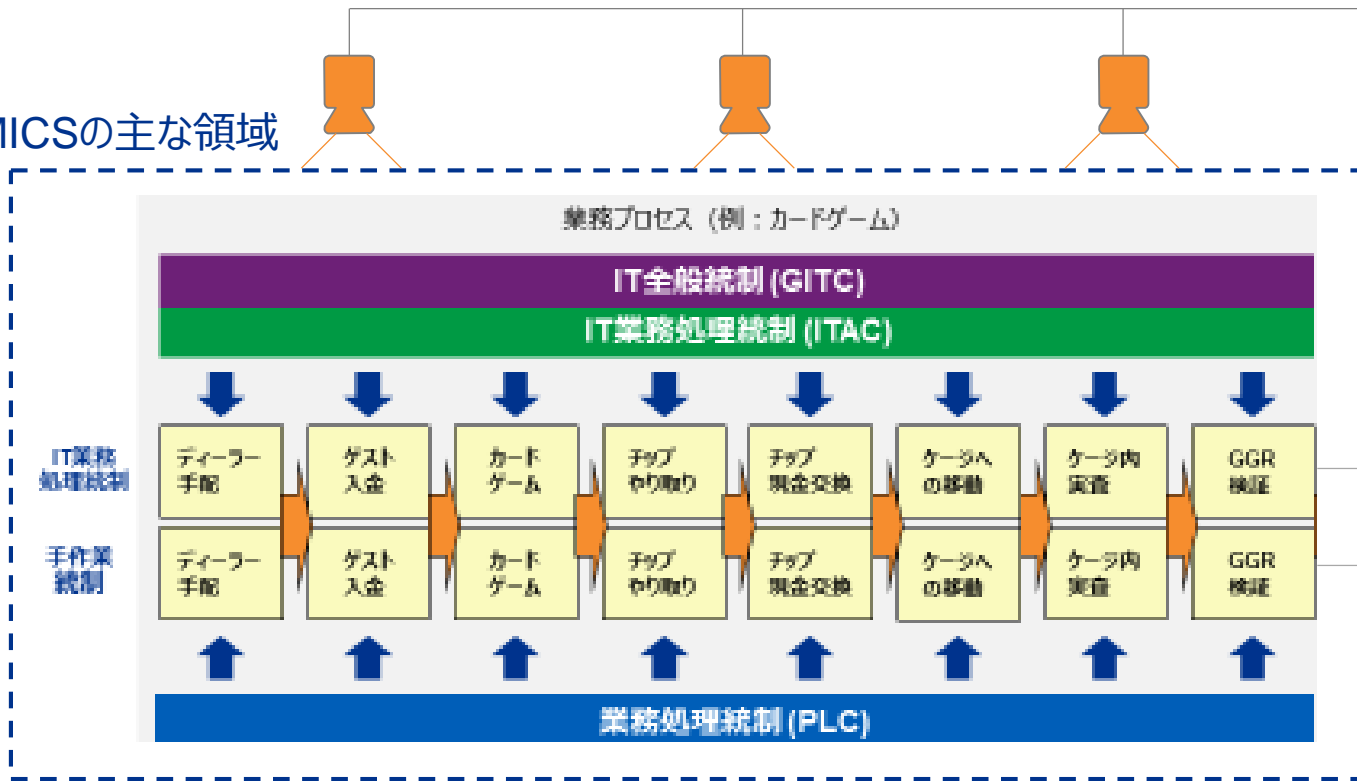


※上記は米国ネバダ州におけるMICSの規定である。

MICSの領域

- ✓ MICSがカバーする領域はPLC、ITAC、及びGITCが中心であるが、MICS以外においても求められる統制（監視カメラによるモニタリングや不正防止のための分析など）は存在する。

MICSの主な領域



モニタリング (天井裏の目)



Win-rateの分析等



MICSの具体例（1）～カードゲーム

✓ カードゲームをカジノで営む事業者は、例えば以下のような内部統制を構築することが求められる。

項目	内部統制
カードへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゲームに使うカードは安全な場所に保管し、権限のない者が不正にアクセスできないようにする（職務分掌）。 ✓ 使用しないカードには無効処理を施し廃棄する（証跡管理）。
テーブルバンクとカジノ ケージ間の移動	<ul style="list-style-type: none"> ✓ テーブルバンクとカジノケージ間の現金、チップ、カード等の移動はすべて監督者の承認が必要となり、文書化による管理が求められる（承認行為）。
メインバンクの突合	<ul style="list-style-type: none"> ✓ カードゲームのメインバンクに保管されたすべての現金、チップ等は少なくとも8時間ごとに集計、記帳、残高確認を行い、監督者は上記の統制が適切に行われたことを確認し、チェックフォームにサインをする（承認行為）。
ドロップボックスとカウンターの ルール	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ドロップボックスをテーブルから取り出すための鍵とドロップボックスの中身を取り出す鍵は別々のものにする（職務分掌）。 ✓ 鍵が返還されるまでのカウントの間（休憩含む）は、決められた担当者（少なくとも3人）以外は鍵へのアクセスが認められない（物理的アクセスコントロール）。
プログレッシブジャックポット等 のプロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プロGRESSIBジャックポットのようなプロモーションで500ドル以上を払い出す際は、払い出しの日時、払い出し金額や景品（例：景品の車）、払い出しの理由（例：プロモーション名）、払い出しを検証、承認、実施した責任者の氏名、払い出しを受ける顧客の氏名を記録する必要がある（証跡管理）。

※上記は米国ネバダ州におけるMICSの規定である。

MICSの具体例（2）～IT技術

✓ カジノを営む事業者はIT技術に関して、例えば以下のような内部統制を構築することが求められる。

項目	内部統制
システムの物理的アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゲーミングアプリケーションのためのITシステム及び機器は安全な場所で保管管理されなければならない（アクセスコントロール）。 ✓ IT担当者以外のものが保管管理場所に立ち入る際は、氏名、訪問目的、入室日時、退室日時、及び立ち入りを許可したIT担当者の氏名を記録しなければならない（アクセスコントロール）。
システムパラメーター	<ul style="list-style-type: none"> ✓ パスワードは最低8文字で大文字、小文字、数字及び特殊文字の内、最低2種類を組み合わせたものでなくてはならない（アクセスコントロール）。 ✓ パスワードは90日ごとに変更されなければならず、過去18カ月以内に使用したものは新たに使用できないように設定されなければならない（アクセスコントロール）。
バックアップ手続	<ul style="list-style-type: none"> ✓ バックアッププロセス終了後、直ちにその記録媒体はサーバーの保管場所とは異なる場所に移管される必要がある（バックアップ管理）。 ✓ バックアップのシステムログはIT担当者（あるいはIT担当者が許可した者）によって日時でレビューされ、スケジュール通りにバックアップがなされていることを確認する（バックアップ管理）。
ネットワークセキュリティとデータと保護	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 来訪者（カジノ客、ホテル宿泊客、外部業者）に対しアクセス可能なネットワークを提供する場合、ゲーミングやゲーミングに起因する税に関連するシステム、アプリケーションとは明確に分離される必要がある。これらシステムのネットワーク間においてトラフィックの交流があってはならない（アクセスコントロール）。
システム開発の内製化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゲーミングやゲーミングに起因する税に関係するソフトウェアを自社内で改修、開発する場合、手順を定める必要がある。この手順の文書化を担当する責任者（内部/外部監査人及びゲーミングボードより選任）については、Regulation 6.090に準拠した内部統制システムの中に明記される必要がある（システム開発/変更管理）。

※上記は米国ネバダ州におけるMICSの規定である。

MICSに基づき提出が求められる文書

✓ MICSの適切な整備・運用を示すために当局に対して提出する主な文書例は以下の通りである。

— MICSに基づき提出が求められる文書例 —

- 直接または間接的な所有者（オーナーシップ）に係る記録、提案されたスロットマシンのライセンス保有者、関連会社、仲介業者、子会社、または持株会社に係る記録
- 適切な業務分掌を踏まえた組織図
- 組織図の各職階における役割と責任
- 管理および会計処理に関する業務記述書（MICSの遵守状況を含む）
※業務記述書は実施者の職位や具体的な手続き（時間、場所等が分かるように記載する必要がある。）
- 文書保管の方針
- 資産保護のための手順（資産の棚卸方法を含む）
- その他ボードが必要に応じて提出を求める資料
- 内部統制システムの正当性について、ゲーミング部門の各部門長が評価した署名入りの宣誓書
- 会社が適切な内部統制を整備していることについて、第三者（独立した会計事務所等）からの意見書

※上記は米国ネバダ州におけるMICSの規定である。

MICSに基づく独立監査人による手続

- ✓ MICSが適切に整備・運用されているかについて、規制当局が定めるコンプライアンスチェックリストに基づいた手続が独立監査人により実施される。

— 独立監査人によって実施されるMICSの監査手続例 —

- ゲーミング従事者によって実施される業務の観察
- 関連手続きを実施するゲーミング従事者へのインタビュー
- MICSにおけるコンプライアンス遵守状況の評価（ウォークスルーの実施を含む）
- チェックリストにある資料および記録の調査
- 以下について無予告の観察（最低年に一度）
 - スロットコインの回収と集計
 - スロット紙幣識別機における回収と集計
 - テーブルゲームにおける回収と集計
 - ケージ（現金取扱所）における現金の集計

※上記は米国ネバダ州におけるMICSの規定である。

MICSとAML(資金洗浄対策)/CFT(テロ資金供与対策)の関係

✓ MICSはカジノを通じた資金洗浄を防止する役割も果たす。



- MICSによる内部統制によりゲーミング内の不適切な資金のやり取りの発生を防止
- 顧客管理を強化するため入場から退場までの特定の顧客の行動をモニタリング
- 疑わしい取引や高額取引が生じた場合の規制当局への報告義務

※AML: Anti-money Laundering (資金洗浄対策)

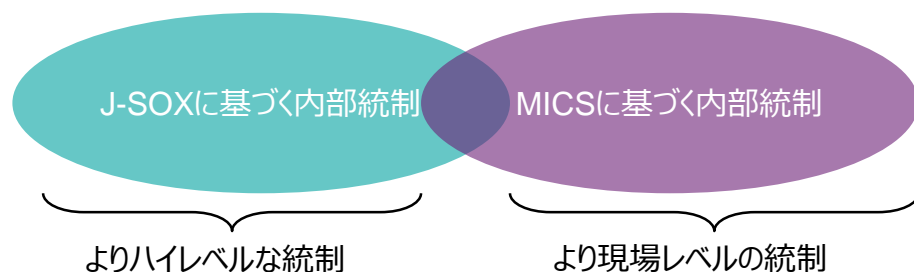
CFT: Combating the Financing of Terrorism (テロ資金供与対策)

3. 日本版MICSの検討事項

日本版MICSの適用に関する検討事項 1/2

✓ 日本でのゲーミング事業のオペレーションにおいても、米国ネバダ州におけるMICSのような内部統制に関する規制が設けられることが予想されるが、その際に例えば以下のような点に留意すべきと考えられる。

- 日本のJ-SOXに基づく内部統制は上場会社を対象とした財務報告の信頼性を確保することが主目的であるのに対して、ゲーミング事業におけるMICSはゲーミング運営事業者に対するGGR課税〈納付金〉適正化が主目的であることから、日本版MICSでは現金の取り扱いにフォーカスした、現場レベルでの統制をより詳細に検討する必要がある。



- 例えば、職務分掌の内部統制として、J-SOX及びMICSともに組織図を準備することが想定されるが、通常J-SOXにおいて求められる組織図は会社における部門の職務分掌がわかるものであるのに対して、MICSにおいて求められる組織図はカジノの現場レベルの職務分掌がわかるものである。

- 米国ネバダ州のMICSに関する規制として、内部統制の順守について独立した会計士によるコンプライアンスチェックリストに基づいた合意された手続を受ける必要があるのに対して、日本版MICSがJ-SOXに準じた監査制度となる場合、チェックリスト等に基づかないより広範囲な内部統制の監査が求められる可能性がある。

日本版MICSの適用に関する検討事項 2/2

- 米国ネバダ州のMICSはカジノのオペレーションで最低限順守が求められる内部統制に過ぎず、本来有すべき内部統制を網羅的に規定しているものではない。日本版MICSの導入に際しては、以下のような観点にも留意が必要である。
 - テクノロジーの進化により、手作業により順守が求められていた統制の代わりにIT技術を駆使した自動化された統制の順守が求められる可能性がある。
 - 日本版MICSでは規制の趣旨が広がることで、依存症対策やマネーロンダリング対策等の観点から、より厳しい統制の設定及び順守が求められる可能性がある。
 - 通常、MICSよりも詳細な手続を定めた標準作業手続（SOP：Standard Operating Procedure）を策定しオペレーションを行うことになるが、このSOPの内容が部分的に日本版MICSに含まれる可能性がある。



- 例えば、米国ネバダ州のMICSではカジノへの入退場に関する内部統制が詳細に定められていないが、日本版MICSでは依存症及びマネーロンダリング対策から、IT技術を駆使したより厳しい入退場に関する内部統制が求められる可能性がある。
- 例えば、監視カメラによる24時間の監視及び録画（モニタリングの強化）、チップ両替の場合にチップを広げる（チップのやり取りを監視カメラに映すため）、ポケットのない服を着る（従業員不正防止）等、SOPで定められる統制も検討する。